

昭和24年の開園以来69年が経過し、この間の子どもを取り巻く環境の大きな変化にともない入所理由も変わってきたが、子供の家から社会に巣立っていった児童、あるいは家庭等に復帰した児童は合計1,015名に及んでいる。

平成28年に児童福祉法が大幅に改正され、権利の主体者を児童とより明確にし、さらに家庭支援が強化されることとなった。

子供の家では児童福祉法の基本的な考え方のもと、平成28年12月に策定した運営理念、運営目標に基づき、児童の最善の利益のために、養育支援に取り組んできた。

◎平成29年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

(1) 児童の権利擁護

- ① 被措置児童への虐待防止研修を始め様々な研修に職員を参加させるとともに、職員会や施設内研修を通じ、養育者としての資質の向上に努めた。
- ② ブロック会や意見箱、さらに児童アンケート等により児童の声の把握に努め、個々の児童に応じた養育に取り組んだ。

(2) 児童の養育・支援

- ① 心理療法担当職員を3名配置しきめ細やかなケアを実施するとともに、担当職員、心理士、看護師等の専門職が連携し児童に応じた養育に努めた。
- ② 教員退職者、大学生等のボランティアの協力を得て学習会を実施するとともに、受験生には学習塾を積極的に活用し学力の向上を目指した。

◆医療的ケア

- 医療的ケア対象児童数 21名
- 全児童延べ受診者数 1,006名
- 主な医療機関 医療センター・高知大附属病院・国立病院 他

◆心理療法

- 心理療法対象児童数 12名
- 年間延べ実施日数 240日
- 1日当たり平均実施時間 1時間

◆被虐待児個別対応相談員の活動状況

- 個別対応対象児童数 14名
- 個別対応年間実施日数 100日
- 1日当たり平均実施時間 30分
- 保護者への児童の施設での生活状況の説明

◆平成30年3月に中学又は高校を卒業した児童の進路状況

児童	区分	性別	進学	就職	進路等の状況
1	中学	女	○		県立高知東高校
2	〃	男	○		県立高知丸の内高校
3	〃	男	○		私立高知学芸高校
4	高校	男	○		国立高知大学
5	〃	男	○		公立高知工科大学
6	〃	男	○		公立高知工科大学
7	〃	女	○		国立北海道教育大学
8	〃	男		○	セキスイハイム東四国株式会社
9	〃	男		○	社会福祉法人香南会

(3) 家庭支援の強化

- ① 社会福祉士の資格を持つ職員等3名を家庭支援専門相談員として配置し体制の強化を図り、関係機関と連携し家庭支援に取り組んだ。
- ② 児童と家庭の関係再構築のために、面会、外出、一時帰宅などを児童相談所とも協力しながら積極的に行った。

(4) 事故防止と危機管理

- ① 防災マニュアルを見直すとともに、年間避難訓練計画に基づき火災、地震、津波や不審者を想定し、様々な形で避難訓練や消火訓練を実施した。
- ② 備蓄食料等の点検を随時行うとともに、地域の避難所としての役割を果たすため、日頃より積極的に地域活動に参加をし地域との関係を深めた。

(5) 家庭的養護の推進

- ① 将来の全ブロック小規模化を目指し、小規模グループケアを5ブロックとするとともに、各ブロックに専任職員を2名配置し地域分散化を見据え職員のスキルアップに取り組んだ。

(6) 関係機関連携と地域支援

- ① 地域の関係組織との連携のもと、地域の子育て支援のニーズや情報の収集に努めた。
- ② 8自治体と業務委託の契約を締結し、ショートステイの受け入れを行った。

(7) 職員の資質と施設運営の向上

- ① 階層別研修や専門職研修に積極的に職員を参加させ、スキル、キャリアアップを図った。
- ② 職員会、ケース検討会等の各種会議を定期的に行い情報の共有化を図り、施設運営の向上に努めた。

◆各種研修会等への参加状況

- 全養協関係 5回／14名 ○中四国養協関係 1回／2名
 ○県養協関係 4回／22名 ○県社協関係 1回／2名
 ○各種専門研修 6回／105名 ○その他 4回／8名

◆年度別児童・職員数

各年度3月31日現在

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
定員（暫定）	70名 (60名)	70名 (57名)	70名 (58名)	70名 (56名)	70名 (54名)
在籍児童数	55名	47名	42名	46名	38名
職員数	31名	34名	37名	36名	40名

※職員数：臨時・パートを含む

◆平成29年度 月別児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	46	46	45	45	45	48	49	47	47	47	47	45
入所	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1
退所	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	8

◆学年別児童数

平成30年3月31日現在

	就 学 前		小 学 校						中 学 校			高 校			そ の 他	計
	3歳 未満	3歳 以上	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年		
男	2	2	0	1	3	1	1	2	2	3	2	4	1	2	1	27
女	1	4	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	11
計	3	6	0	4	3	2	1	2	2	3	4	4	1	2	1	38

◆入所主訴理由別児童数

平成30年3月31日現在

入所理由	人数	構成比	入所理由	人数	構成比
父母の行方不明	0	0.0%	虐待	8	21.1%
父母の離婚	0	0.0%	経済的理由	5 (2)	13.2%
父母の拘禁	2 (1)	5.2%	精神疾患・入院	4 (2)	10.5%
父母の傷病・入院	1	2.6%	措置変更	9	23.7%
父母の養育困難	9 (4)	23.7%			
			合計	38	100.0%

※ () は措置変更時の元の入所理由

◆保育士、社会福祉士、介護等施設実習生の受入れ(県立大学、高知大学、高知工科大学、高知学園短大、龍馬ふくし専門学校、高知福祉専門学校等)

◆一時保護委託の状況(受託先: 児童相談所)

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
平成29年度	—	—	—
平成28年度	21名	24名	459日
平成27年度	17名	17名	304日

◆子育て支援短期利用事業(契約先: 高知市・南国市・安芸市・土佐市・いの町
佐川町・田野町・日高村)

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
平成29年度	2名	2名	6名
平成28年度	8名	8名	60日
平成27年度	20名	29名	160日

◆平成29年度主要な年間行事

- 4月 小・中家庭訪問、高知市教職員組合来園
- 5月 子どもの日バイキング
- 6月 輪抜け祭
- 7月 浦戸湾・七河川一斉清掃、城東校区ドッジ、四国ブロックスポーツ交歓会
よさこいメダル作り、幼児ブロック川遊びBBQ
- 8月 四国ブロック施設交流会、ぶどう狩り招待、キャンプ（悪天候により中止）
- 9月 鏡川ライオンズ健診、鏡川ライオンズ BBQ 招待、江陽小教員との交流会
- 10月 フリップモジヤパン来園、インフルエンザ予防接種（1回目）
- 11月 本庄だんじり祭ばやし来園、洋菓子協会来園、船釣り体験招待
四電労働組合来園、インフルエンザ予防接種（2回目）、ちぐさ祭り招待
- 12月 韓国民団招待、総合避難訓練、市長サンタ来園、高知教会クリスマス招待
子供の家クリスマスバイキング
- 30/1月 正月
- 2月 節分豆まき
- 3月 皿鉢料理寄贈
- 通年 「散髪奉仕団・風」による散髪奉仕(毎月第4月曜日)
FD試合招待、子ども劇場招待、その他多数の招待・来園